

高田川水系・大長川水系・原田川水系・原下川水系

・小原川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～頻発化・激甚化する豪雨からいのちを守る流域治水対策の推進～

令和7年度版

中央ブロック

二級水系
流域治水プロジェクト

- 平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害や、気候変動による豪雨の頻発化・激甚化が懸念されていることを踏まえ、事前防災対策を進める必要がある。
- 堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため池を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。
- 河川情報の充実やハザードマップの作成・周知、出前講座の実施などにより、確実な避難や経済被害の軽減、早期復旧復興に努める。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ①洪水氾濫対策
- ②ダム等の洪水調節機能の強化※この水系にダムはありません。
- ③内水氾濫対策【呉市】
- ④雨水貯留機能の向上【呉市、大崎上島町】
- ⑤山地の保水機能の向上【広島県】
- ⑥土砂流出対策【広島県】

等

■被害対象を減少させるための対策

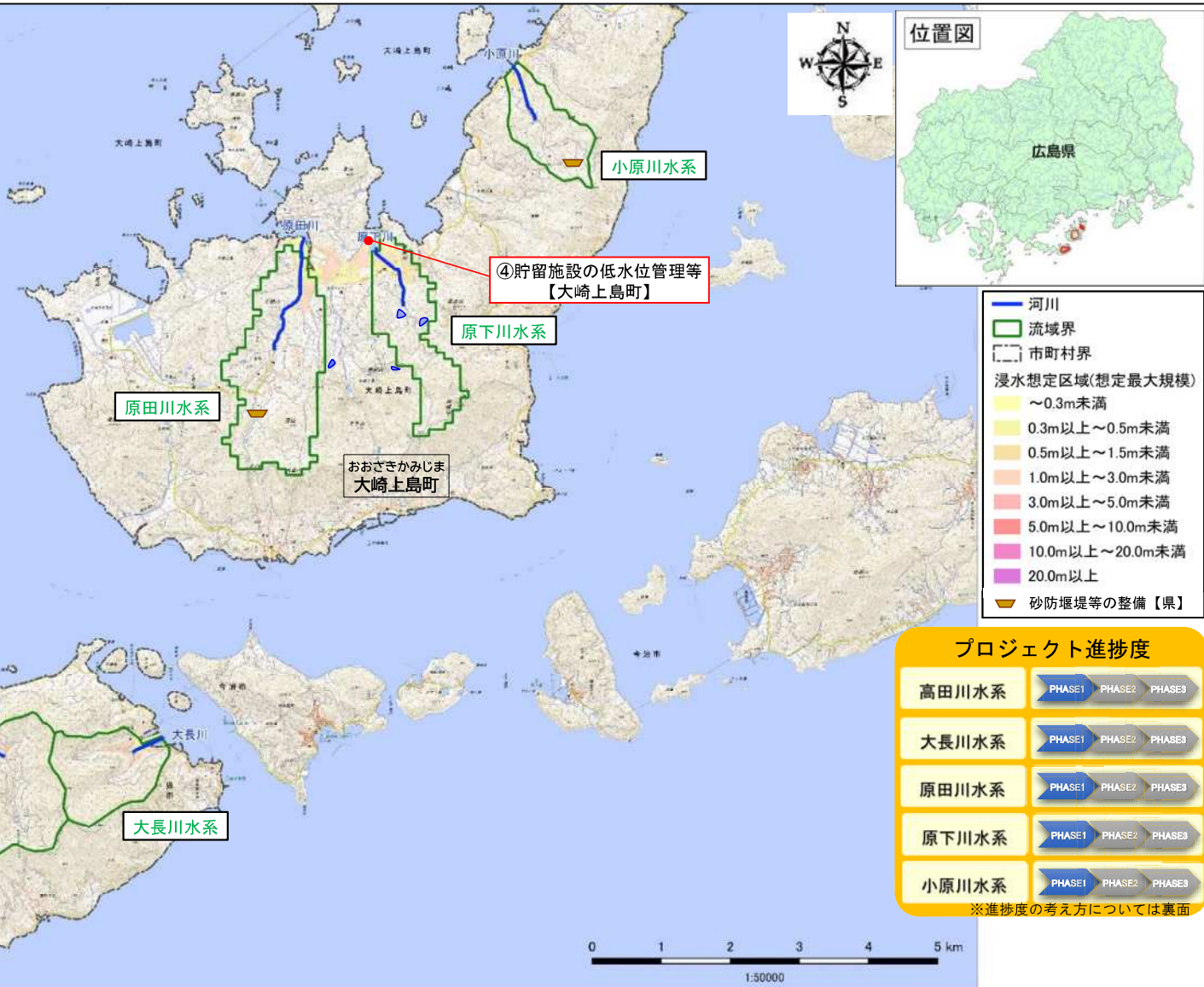
- ⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫
- ・立地適正化計画の改定・運用【呉市】

等

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ⑧ハザードマップの作成・周知
 - ・洪水ハザードマップの作成・周知【呉市】
 - ・出前講座等を活用した防災教育【広島県、呉市】
 - ・マイ・タイムラインの作成及び活用の促進【呉市】
- ⑨高齢者等避難の実効性の確保
 - ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進【呉市】
 - ・避難行動要支援者への支援【呉市、大崎上島町】
- ⑩防災体制の強化
 - ・情報伝達手段の多重化促進【呉市】
 - ・防災拠点の浸水対策【大崎上島町】
 - ・関係機関との各種連携【広島県、呉市、大崎上島町】

等



プロジェクト進捗度	
高田川水系	PHASE1 PHASE2 PHASE3
大長川水系	PHASE1 PHASE2 PHASE3
原田川水系	PHASE1 PHASE2 PHASE3
原下川水系	PHASE1 PHASE2 PHASE3
小原川水系	PHASE1 PHASE2 PHASE3

※進捗度の考え方については裏面

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

○ 高田川・大長川・原田川・原下川・小原川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市町、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害に対し、再度災害防止を最優先として治水対策を実施。

【中期・中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、立地適正化計画等に基づく水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	③内水氾濫対策	呉市	農業用水利施設の整備		
	④雨水貯留機能の向上	呉市、大崎上島町	農地等の保全		
		大崎上島町	貯留施設の低水位管理等		
	⑤山地の保水機能の向上	広島県	森林整備、治山事業		
⑥土砂流出対策	広島県	砂防堰堤等の整備			
被害対象を減少させるための対策	⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫	呉市	防災指針策定済	立地適正化計画の改定・運用	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	呉市、(広島県)	洪水ハザードマップ作成済【呉市】	出前講座等にて周知	
	⑨高齢者等避難の実効性の確保	呉市	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進		
	⑩防災体制の強化	広島県、呉市、大崎上島町	関係機関との各種連携		



※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

プロジェクト進捗度の考え方

- PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階
- PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階
- PHASE3 流域で流量を分担するなどし、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階

～頻発化・激甚化する豪雨からいのちを守る流域治水対策の推進～

- 沼田川・和久原川・西野川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害に対し、再度災害防止を最優先として治水対策を実施。
- 【中期・中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、立地適正化計画等に基づく水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	①洪水氾濫対策	広島県	河川改修(天井川、仏通寺川、菅川、梨和川)・堤防強化(済)、高潮対策(沼田川)	河川改修(杵原川、入野川、沼田川、椋梨川)・浸透対策(沼田川)	
		三原市、東広島市	準用河川・普通河川の改修、浚渫【三原市】	普通河川の改修、浚渫【東広島市】	
	②ダムでの洪水調節機能の強化	広島県、三原市	利水ダム等における事前放流の実施、体制構築(三河ダム、椋梨ダム、福富ダム)		
	③内水氾濫対策	三原市、東広島市	雨水排水施設の整備、長寿命化、耐水化【三原市】	雨水排水施設の整備【東広島市】	
	④雨水貯留機能の向上	三原市、東広島市	農地等の保全		
		広島県	ほ場整備(安宿地区(済)、戸野地区、深見地区)	ほ場整備(東高屋地区)	
	東広島市	貯留施設の低水位管理等			
⑤山地の保水機能の向上	広島県、広島森林管理署、森林整備センター	森林整備、治山事業			
⑥土砂流出対策	広島県	砂防堰堤等の整備			
被害対象を減少させるための対策	⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫	東広島市、三原市	防災指針策定【東広島市】	防災指針策定【三原市】	立地適正化計画の改定・運用
		三原市、東広島市	開発許可の厳格化済	浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化の運用	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	三原市、東広島市、(広島県)	洪水ハザードマップ作成済【東広島市】	出前講座等にて周知	
	⑨高齢者等避難の実効性の確保	三原市、東広島市	洪水・内水ハザードマップ作成【三原市】	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進	
	⑩防災体制の強化	広島県、三原市、東広島市	関係機関との各種連携		



プロジェクト進捗度の考え方

- PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階
- PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階
- PHASE3 流域で流量を分担するなどし、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

～頻発化・激甚化する豪雨からいのちを守る流域治水対策の推進～

- 平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害や、気候変動による豪雨の頻発化・激甚化が懸念されていることを踏まえ、事前防災対策を進める必要がある。
- 堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため池を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。
- 氾濫した場合を想定して土地利用規制や居住誘導、不動産取引時のリスク情報提供などを実施することにより、被害対象を減少させる。
- 河川情報の充実やハザードマップの作成・周知、出前講座の実施などにより、確実な避難や経済被害の軽減、早期復旧復興に努める。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

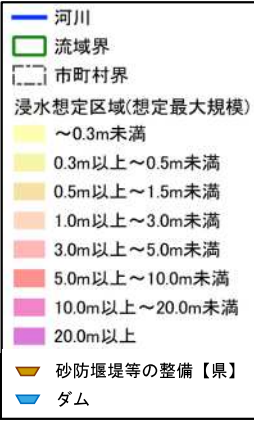
- ①洪水氾濫対策【広島県、熊野町】
- ②ダム洪水調節機能の強化【呉市】
- ③内水氾濫対策【呉市、熊野町】
- ④雨水貯留機能の向上【呉市】
- ⑤山地の保水機能の向上【広島県】
- ⑥土砂流出対策【広島県】

■被害対象を減少させるための対策

- ⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫
 - ・立地適正化計画の策定(改定)・運用【呉市、熊野町【済】】
 - ・浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化【呉市】等

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ⑧ハザードマップの作成・周知
 - ・洪水・内水ハザードマップの作成・周知【呉市、熊野町】
 - ・出前講座等を活用した防災教育【広島県、呉市、熊野町】
 - ・マイ・タイムラインの作成及び活用の促進【呉市、熊野町】
- ⑨高齢者等避難の実効性の確保
 - ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進【呉市、熊野町】
 - ・避難行動要支援者への支援【呉市、熊野町】
- ⑩防災体制の強化
 - ・情報伝達手段の多重化促進【呉市、熊野町】
 - ・水防訓練の実施【呉市】
 - ・防災拠点の浸水対策【呉市、熊野町】
 - ・関係機関との各種連携【広島県、呉市、熊野町】



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

～頻発化・激甚化する豪雨からいのちを守る流域治水対策の推進～

- 二河川・堺川・大谷川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市町、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害に対し、再度災害防止を最優先として治水対策を実施。
- 【中期・中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、立地適正化計画等に基づく水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	①洪水氾濫対策	広島県	河川改修(二河川、大谷川) → 河川改修(二河川、堺川)		
		熊野町	普通河川の改修、浚渫		
	②ダム洪水調節機能の強化	呉市	利水ダム等における事前放流の実施、体制構築(本庄ダム)		
		呉市	雨水排水施設の長寿命化(二河川水系、堺川水系)、整備・耐水化(大谷川水系)		
	③内水氾濫対策	呉市、熊野町	農業水利施設の整備【呉市】 → 農業水利施設の整備【熊野町】		
		広島県	森林整備、治山事業		
⑥土砂流出対策	広島県	砂防堰堤等の整備			
被害対象を減少させるための対策	⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫	呉市、熊野町	防災指針策定済【呉市、熊野町】 立地適正化計画の策定【済】・運用【熊野町】 → 立地適正化計画の改定・運用		
		呉市	開発許可の厳格化済 浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化の運用		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	呉市、熊野町、(広島県)	洪水ハザードマップ作成済【呉市、熊野町】 → 出前講座等にて周知		
	⑨高齢者等避難の実効性の確保	呉市、熊野町	内水ハザードマップ作成【呉市】 → 要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進		
	⑩防災体制の強化	広島県、呉市、熊野町	関係機関との各種連携		



プロジェクト進捗度の考え方

- PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階
- PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階
- PHASE3 流域で流量を分担するなどし、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

二級水系
流域治水プロジェクト

流域治水プロジェクト【位置図】

～頻発化・激甚化する豪雨からいのちを守る流域治水対策の推進～

- 平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害や、気候変動による豪雨の頻発化・激甚化が懸念されていることを踏まえ、事前防災対策を進める必要がある。
- 堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため池を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。
- 氾濫した場合を想定して土地利用規制や居住誘導、不動産取引時のリスク情報提供などを実施することにより、被害対象を減少させる。
- 河川情報の充実やハザードマップの作成・周知、出前講座の実施などにより、確実な避難や経済被害の軽減、早期復旧復興に努める。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

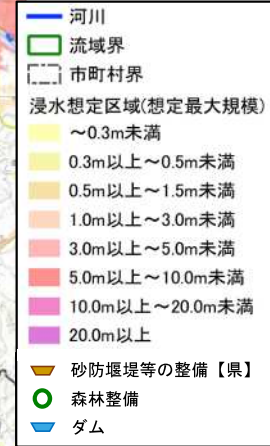
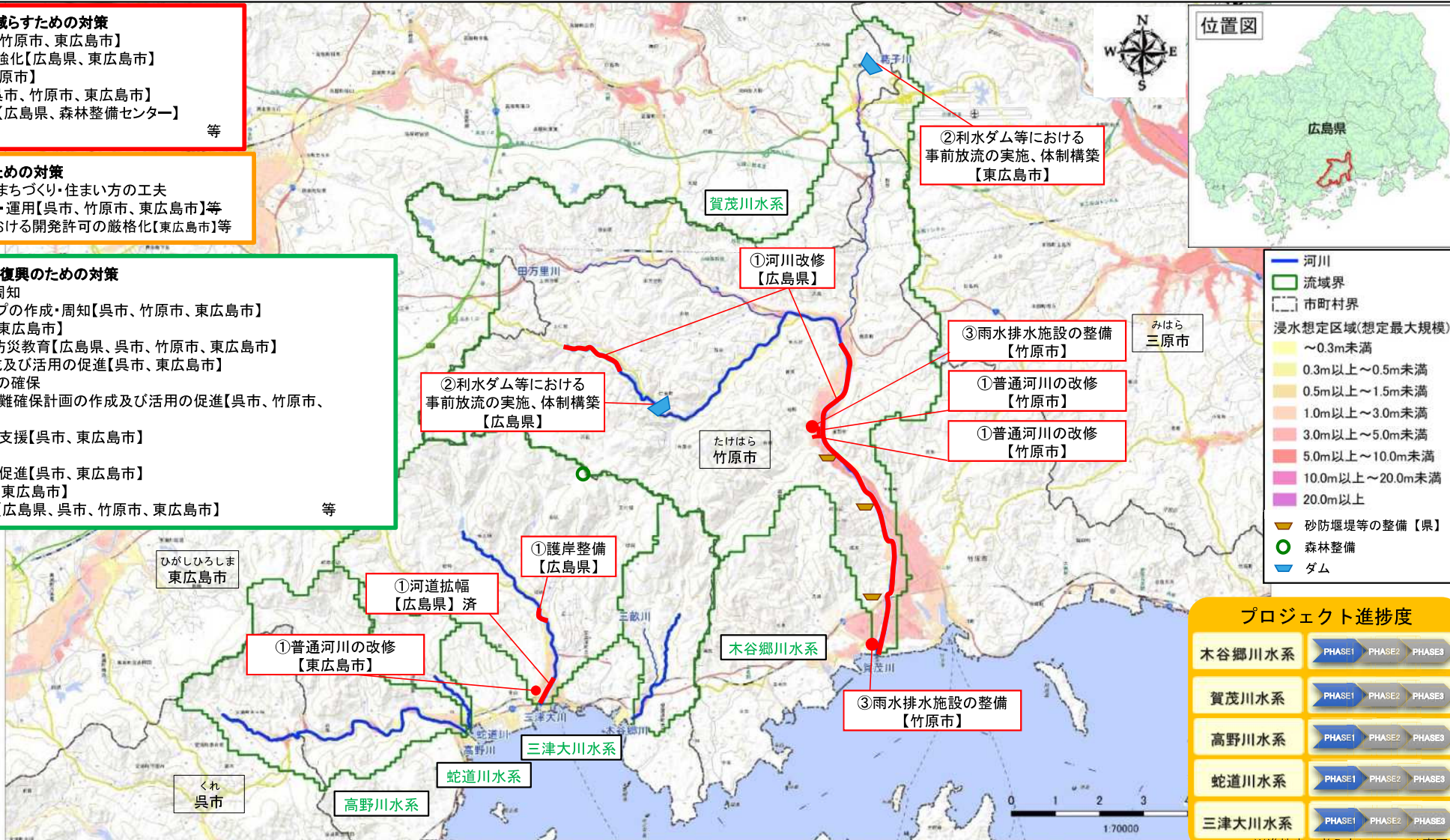
- ①洪水氾濫対策【広島県、竹原市、東広島市】
- ②ダム等の洪水調節機能の強化【広島県、東広島市】
- ③内水氾濫対策【呉市、竹原市】
- ④雨水貯留機能の向上【呉市、竹原市、東広島市】
- ⑤山地の保水機能の向上【広島県、森林整備センター】
- ⑥土砂流出対策【広島県】

■被害対象を減少させるための対策

- ⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫
- ・立地適正化計画の改定・運用【呉市、竹原市、東広島市】等
- ・浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化【東広島市】等

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ⑧ハザードマップの作成・周知
 - ・洪水・内水ハザードマップの作成・周知【呉市、竹原市、東広島市】
 - ・河川監視カメラの設置【東広島市】
 - ・出前講座等を活用した防災教育【広島県、呉市、竹原市、東広島市】
 - ・マイ・タイムラインの作成及び活用の促進【呉市、東広島市】
- ⑨高齢者等避難の実効性の確保
 - ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進【呉市、竹原市、東広島市】
 - ・避難行動要支援者への支援【呉市、東広島市】
- ⑩防災体制の強化
 - ・情報伝達手段の多重化促進【呉市、東広島市】
 - ・水防訓練の実施【呉市、東広島市】
 - ・関係機関との各種連携【広島県、呉市、竹原市、東広島市】



プロジェクト進捗度

木谷郷川水系	PHASE1	PHASE2	PHASE3
賀茂川水系	PHASE1	PHASE2	PHASE3
高野川水系	PHASE1	PHASE2	PHASE3
蛇道川水系	PHASE1	PHASE2	PHASE3
三津大川水系	PHASE1	PHASE2	PHASE3

※進捗度の考え方については裏面

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

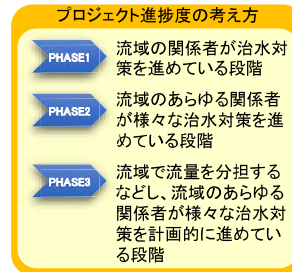
○ 木谷郷川・賀茂川・高野川・蛇道川・三津大川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害に対し、再度災害防止を最優先として治水対策を実施。

【中期・中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、立地適正化計画等に基づく水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	①洪水氾濫対策	広島県	三津大川改良復旧済 河川改修(賀茂川) 河道拡幅、護岸整備(三津大川)		
		竹原市、東広島市	普通河川の改修【竹原市(在屋川・山田川)】 普通河川の改修、浚渫【竹原市、東広島市】		
	②ダムの事前放流等の体制構築、実施	広島県、東広島市	利水ダム等における事前放流の実施、体制構築(千丈ヶ原ダム、仁賀ダム)		
	③内水氾濫対策	竹原市	雨水排水施設の整備【竹原市(賀茂川水系)】		
		呉市	農業用水利施設の整備		
	④雨水貯留機能の向上	呉市、竹原市、東広島市	雨水貯留施設の整備【竹原市】、貯留施設の低水位管理等【東広島市】 農地等の保全		
⑤山地の保水機能の向上	広島県、森林整備センター	森林整備、治山事業			
⑥土砂流出対策	広島県	砂防堰堤等の整備			
被害対象を減少させるための対策	⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫	呉市、竹原市、東広島市	防災指針策定済【呉市】 立地適正化計画の改定・運用		
		東広島市	開発許可の厳格化済 浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化の運用		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	呉市、竹原市、東広島市、(広島県)	洪水ハザードマップ作成済【呉市、東広島市】 出前講座等にて周知		
	⑨高齢者等避難の実効性の確保	呉市、竹原市、東広島市	洪水・内水ハザードマップ作成 要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進		
	⑩防災体制の強化	広島県、呉市、竹原市、東広島市	関係機関との各種連携		

気候変動を踏まえだ、
更なる対策を推進



※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

- 平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害や、気候変動による豪雨の頻発化・激甚化が懸念されていることを踏まえ、事前防災対策を進める必要がある。
- 堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため池を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。
- 氾濫した場合を想定して土地利用規制や居住誘導、不動産取引時のリスク情報提供などを実施することにより、被害対象を減少させる。
- 河川情報の充実やハザードマップの作成・周知、出前講座の実施などにより、確実な避難や経済被害の軽減、早期復旧復興に努める。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

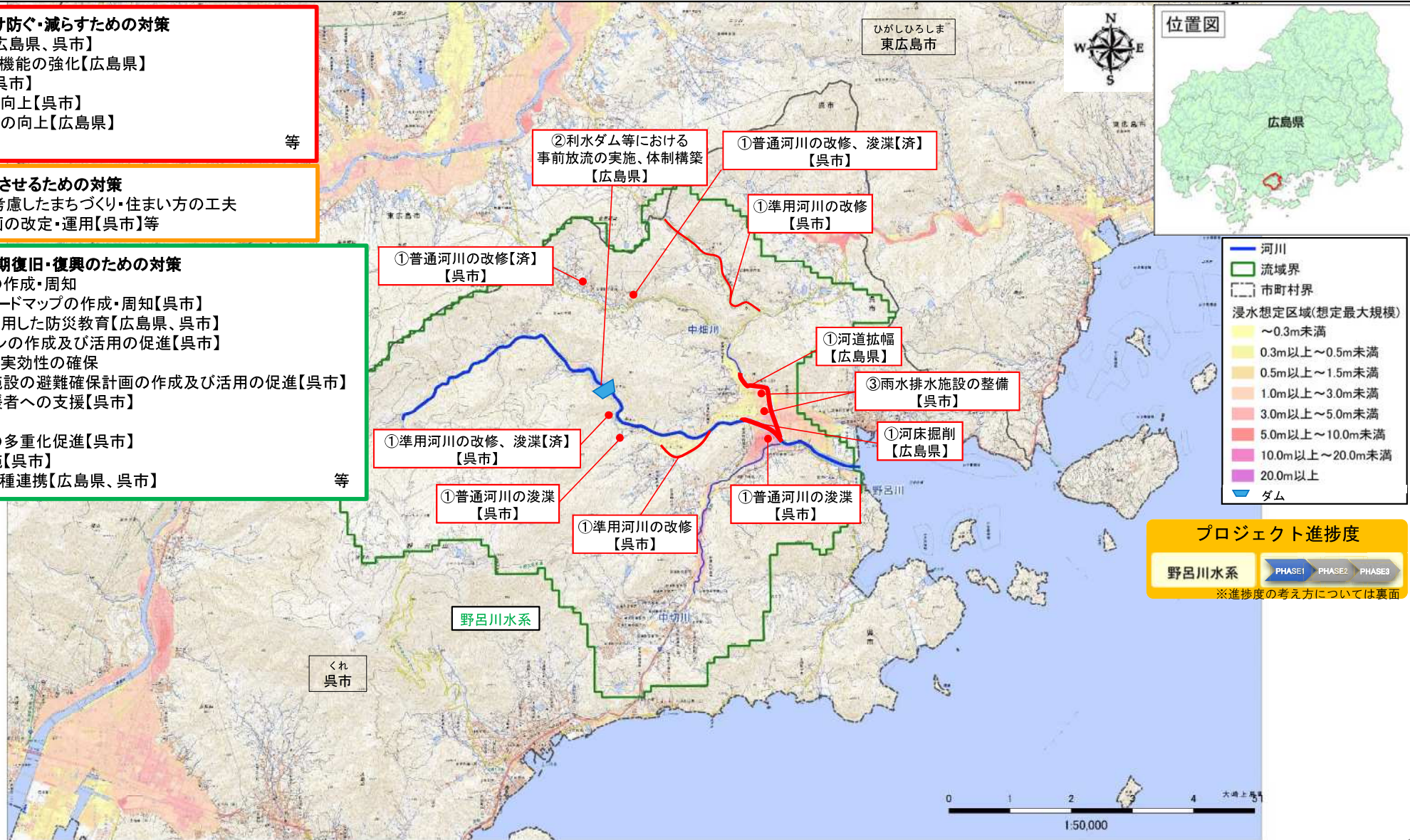
- ①洪水氾濫対策【広島県、呉市】
- ②ダム洪水調節機能の強化【広島県】
- ③内水氾濫対策【呉市】
- ④雨水貯留機能の向上【呉市】
- ⑤山地の保水機能の向上【広島県】
- ⑥土砂流出対策

■被害対象を減少させるための対策

- ⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫
- ・立地適正化計画の改定・運用【呉市】等

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ⑧ハザードマップの作成・周知
 - ・洪水・内水ハザードマップの作成・周知【呉市】
 - ・出前講座等を活用した防災教育【広島県、呉市】
 - ・マイ・タイムラインの作成及び活用の促進【呉市】
- ⑨高齢者等避難の実効性の確保
 - ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進【呉市】
 - ・避難行動要支援者への支援【呉市】
- ⑩防災体制の強化
 - ・情報伝達手段の多重化促進【呉市】
 - ・水防訓練の実施【呉市】
 - ・関係機関との各種連携【広島県、呉市】



プロジェクト進捗度

野呂川水系 PHASE1 PHASE2 PHASE3

※進捗度の考え方については裏面

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

- 野呂川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害に対し、再度災害防止を最優先として治水対策を実施。
- 【中期・中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、立地適正化計画等に基づく水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	①洪水氾濫対策	広島県	河床掘削(野呂川)	河道拡幅(中畑川)	
		呉市	準用河川、普通河川の改修、浚渫		
	②ダム洪水調節機能の強化	広島県	利水ダム等における事前放流の実施、体制構築(野呂川ダム)		
	③内水氾濫対策	呉市	操作規則の変更済(野呂川ダム)	雨水排水施設の整備、耐水化	
		呉市	農業用水利施設の整備		
	④雨水貯留機能の向上	呉市	農地等の保全		
⑤山地の保水機能の向上	広島県	森林整備、治山事業			
被害対象を減少させるための対策	⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫	呉市	防災指針策定済	立地適正化計画の改定・運用	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	呉市、(広島県)	洪水ハザードマップ作成済	出前講座等にて周知	
	⑨高齢者等避難の実効性の確保	呉市	内水ハザードマップ作成	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進	
	⑩防災体制の強化	広島県、呉市	関係機関との各種連携		



プロジェクト進捗度の考え方

- PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階
- PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階
- PHASE3 流域で流量を分担するなどし、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

・大河原川水系流域治水プロジェクト【位置図】

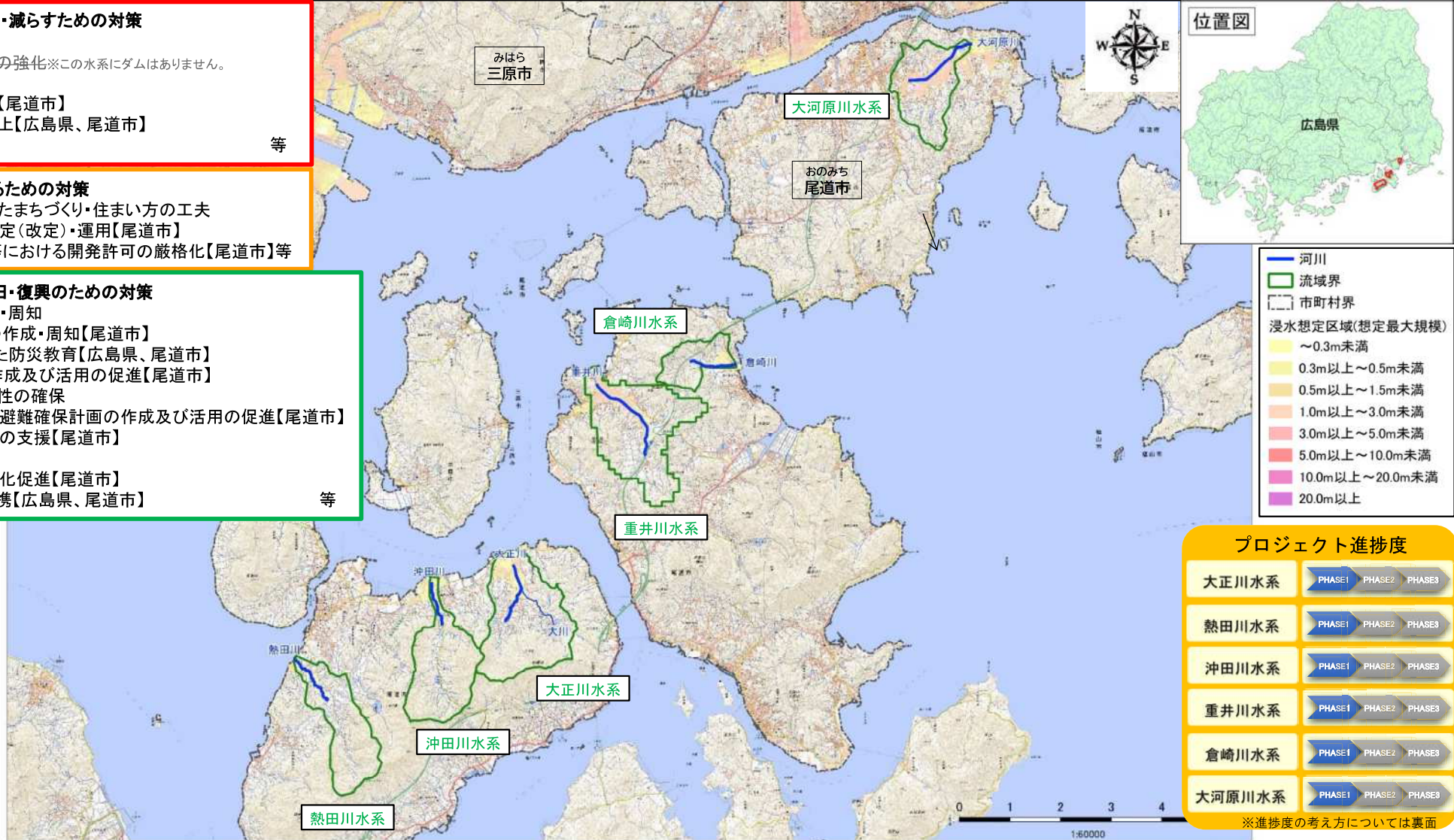
～頻発化・激甚化する豪雨からいのちを守る流域治水対策の推進～

- 平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害や、気候変動による豪雨の頻発化・激甚化が懸念されていることを踏まえ、事前防災対策を進める必要がある。
- 堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため池を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。
- 氾濫した場合を想定して土地利用規制や居住誘導、不動産取引時のリスク情報提供などを実施することにより、被害対象を減少させる。
- 河川情報の充実やハザードマップの作成・周知、出前講座の実施などにより、確実な避難や経済被害の軽減、早期復旧復興に努める。

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- ①洪水氾濫対策
 - ②ダムの洪水調節機能の強化※この水系にダムはありません。
 - ③内水氾濫対策
 - ④雨水貯留機能の向上【尾道市】
 - ⑤山地の保水機能の向上【広島県、尾道市】
 - ⑥土砂流出対策
- 等

- 被害対象を減少させるための対策
- ⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫
 - ・立地適正化計画の策定(改定)・運用【尾道市】
 - ・浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化【尾道市】等

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- ⑧ハザードマップの作成・周知
 - ・洪水ハザードマップの作成・周知【尾道市】
 - ・出前講座等を活用した防災教育【広島県、尾道市】
 - ・マイ・タイムラインの作成及び活用の促進【尾道市】
 - ⑨高齢者等避難の実効性の確保
 - ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進【尾道市】
 - ・避難行動要支援者への支援【尾道市】
 - ⑩防災体制の強化
 - ・情報伝達手段の多重化促進【尾道市】
 - ・関係機関との各種連携【広島県、尾道市】
- 等



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

○ 大正川・熱田川・沖田川・重井川・倉崎川・大河原川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害に対し、再度災害防止を最優先として治水対策を実施。

【中期・中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、立地適正化計画等に基づく水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	④雨水貯留機能の向上	尾道市	農地等の保全		
	⑤山地の保水機能の向上	広島県、尾道市	森林整備、治山事業		
被害対象を減少させるための対策	⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫	尾道市	立地適正化計画の策定・運用		
		尾道市	立地適正化計画の改定・運用		
		尾道市	浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化の運用		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	尾道市、(広島県)	出前講座等にて周知		
	⑨高齢者等避難の実効性の確保	尾道市	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進		
	⑩防災体制の強化	広島県、尾道市	関係機関との各種連携		



プロジェクト進捗度の考え方

- PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階
- PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階
- PHASE3 流域で流量を分担するなどし、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

～頻発化・激甚化する豪雨からいのちを守る流域治水対策の推進～

- 平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害や、気候変動による豪雨の頻発化・激甚化が懸念されていることを踏まえ、事前防災対策を進める必要がある。
- 堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため池を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。
- 氾濫した場合を想定して土地利用規制や居住誘導、不動産取引時のリスク情報提供などを実施することにより、被害対象を減少させる。
- 河川情報の充実やハザードマップの作成・周知、出前講座の実施などにより、確実な避難や経済被害の軽減、早期復旧復興に努める。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ①洪水氾濫対策【広島県、三原市、尾道市】
- ②ダムでの洪水調節機能の強化【藤井川沿岸土地改良区】
- ③内水氾濫対策【尾道市】
- ④雨水貯留機能の向上【三原市、尾道市】
- ⑤山地の保水機能の向上【広島県、尾道市、森林整備センター】
- ⑥土砂流出対策

■被害対象を減少させるための対策

- ⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫
- ・立地適正化計画の策定(改定)・運用【福山市、尾道市】
- ・浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化【尾道市、福山市】
- ・止水板の設置補助【福山市】

止水板設置補助金制度

自宅や店舗等に止水板の設置をお考えの方へ

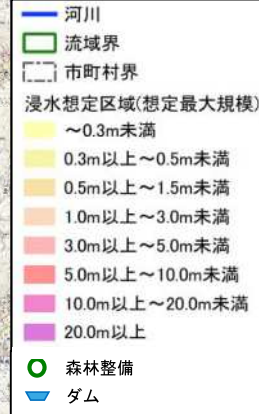
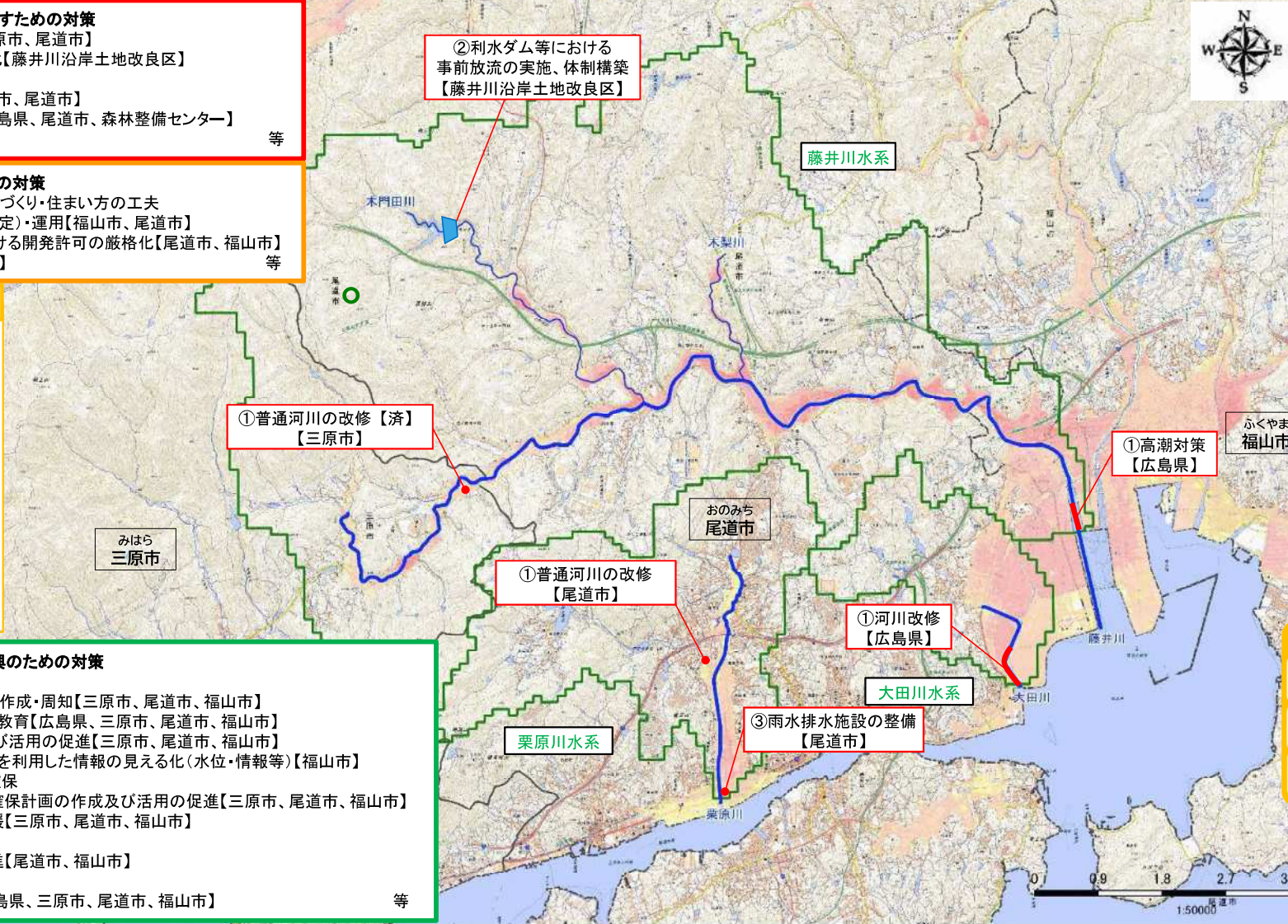
最大 **50** 万円の補助が受けられます！



■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ⑧ハザードマップの作成・周知
 - ・洪水・内水ハザードマップの作成・周知【三原市、尾道市、福山市】
 - ・出前講座等を活用した防災教育【広島県、三原市、尾道市、福山市】
 - ・マイ・タイムラインの作成及び活用の促進【三原市、尾道市、福山市】
 - ・ため池の遠隔監視システムを利用した情報の見える化(水位・情報等)【福山市】
- ⑨高齢者等避難の実効性の確保
 - ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進【三原市、尾道市、福山市】
 - ・避難行動要支援者への支援【三原市、尾道市、福山市】
- ⑩防災体制の強化
 - ・情報伝達手段の多重化促進【尾道市、福山市】
 - ・水防訓練の実施【福山市】
 - ・関係機関との各種連携【広島県、三原市、尾道市、福山市】

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。



プロジェクト進捗度		
藤井川水系	PHASE1	PHASE2 PHASE3
栗原川水系	PHASE1	PHASE2 PHASE3
大田川水系	PHASE1	PHASE2 PHASE3

※進捗度の考え方については裏面

～頻発化・激甚化する豪雨からいのちを守る流域治水対策の推進～

- 藤井川・栗原川・大田川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。
- 【短期】平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害に対し、再度災害防止を最優先として治水対策を実施。
- 【中期・中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、立地適正化計画等に基づく水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	①洪水氾濫対策	広島県	河川改修(大田川)・高潮対策(藤井川)		
		三原市、尾道市	普通河川の改修【三原市(藤井川水系)、尾道市(栗原川水系)】 普通河川の浚渫【三原市(藤井川水系)、尾道市(大田川水系)】		
	②ダム洪水調節機能の強化	藤井川沿岸土地改良区	利水ダム等における事前放流の実施、体制構築(竜泉寺ダム)		
	③内水氾濫対策	尾道市	雨水排水施設の整備(栗原川水系)		
	④雨水貯留機能の向上	三原市、尾道市	農地等の保全		
被害対象を減少させるための対策	⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫	広島県、尾道市、森林整備センター	森林整備、治山事業		
		福山市、尾道市	防災指針策定【福山市】	防災指針策定【尾道市】	
		尾道市、福山市	立地適正化計画の策定・運用【尾道市】	立地適正化計画の改定・運用	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	尾道市、福山市	浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化の運用		
		福山市	開発許可の厳格化済	止水板の設置補助	
		三原市、尾道市、福山市、(広島県)	洪水ハザードマップ作成【三原市、福山市】	洪水ハザードマップ作成済【尾道市】	内水ハザードマップ作成【福山市】
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑨高齢者等避難の実効性の確保	三原市、尾道市、福山市	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進		
		広島県、三原市、尾道市、福山市	関係機関との各種連携		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑩防災体制の強化	三原市、尾道市、福山市			
		広島県、三原市、尾道市、福山市			

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

プロジェクト進捗度の考え方

- PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階
- PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階
- PHASE3 流域で流量を分担するなどし、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

・本谷川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～頻発化・激甚化する豪雨からいのちを守る流域治水対策の推進～

- 平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害や、気候変動による豪雨の頻発化・激甚化が懸念されていることを踏まえ、事前防災対策を進める必要がある。
- 堤防や河道掘削等河川整備のほか、田んぼダムやため池を活用した雨水の貯留などの流域対策を推進し氾濫をできるだけ防ぐ。
- 氾濫した場合を想定して土地利用規制や居住誘導、不動産取引時のリスク情報提供などを実施することにより、被害対象を減少させる。
- 河川情報の充実やハザードマップの作成・周知、出前講座の実施などにより、確実な避難や経済被害の軽減、早期復旧復興に努める。

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ①洪水氾濫対策【広島県、尾道市、福山市】
- ②ダム洪水調節機能の強化※この水系にダムはありません。
- ③内水氾濫対策【福山市】
- ④雨水貯留機能の向上【尾道市、福山市】
- ⑤山地の保水機能の向上【広島県、尾道市、森林整備センター】等
- ⑥土砂流出対策

■被害対象を減少させるための対策

- ①水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫
 - ・立地適正化計画の策定(改定)・運用【福山市、尾道市】
 - ・浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化【尾道市、福山市】
 - ・止水板の設置補助【福山市】

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ⑧ハザードマップの作成・周知
 - ・洪水・内水ハザードマップの作成・周知【尾道市、福山市】
 - ・出前講座等を活用した防災教育【広島県、尾道市、福山市】
 - ・マイ・タイムラインの作成及び活用の促進【尾道市、福山市】
 - ・ため池の遠隔監視システムを利用した情報の見える化(水位・情報等)【福山市】
- ⑨高齢者等避難の実効性の確保
 - ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進【尾道市、福山市】
 - ・避難行動要支援者への支援【尾道市、福山市】
- ⑩防災体制の強化
 - ・情報伝達手段の多重化促進【尾道市、福山市】
 - ・水防訓練の実施【福山市】
 - ・関係機関との各種連携【広島県、尾道市、福山市】



止水板設置補助金制度

自宅や店舗等へ止水板の設置をお考えの方へ

最大 **50** 万円の補助が受けられます！

止水板とは

対象事業

【問い合わせ先】 福山市上下水道局建設管理課 水防対策センター



プロジェクト進捗度

本郷川水系	PHASE1	PHASE2	PHASE3
羽原川水系	PHASE1	PHASE2	PHASE3
新川水系	PHASE1	PHASE2	PHASE3
山南川水系	PHASE1	PHASE2	PHASE3
才戸川水系	PHASE1	PHASE2	PHASE3
本谷川水系	PHASE1	PHASE2	PHASE3

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

○ 本郷川・羽原川・新川・山南川・才戸川・本谷川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、県、市、住民が一体となって次の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】平成30年7月豪雨をはじめとした近年の大規模な豪雨災害に対し、再度災害防止を最優先として治水対策を実施。

【中期・中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、引き続き治水対策を実施。あわせて、立地適正化計画等に基づく水災害リスクを考慮したまちづくりの推進や、ハザードマップの作成・周知等、的確な避難行動につなげるためのソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	①洪水氾濫対策	広島県、(福山市)	河川改修(羽原川) > 河川改修(本郷川、新川【福山市の堰の改築含む】)		
		尾道市、福山市	普通河川の浚渫【福山市】 >	普通河川の改修【福山市・尾道市】	
	③内水氾濫対策	福山市	雨水排水施設の整備、耐震化・耐水化 > 雨水排水施設の長寿命化		
	④雨水貯留機能の向上	福山市	雨水貯留施設の整備		
		尾道市、福山市	農地等の保全		
⑤山地の保水機能の向上	福山市	農業用ため池の改良			
被害対象を減少させるための対策	⑦水災害リスクを考慮したまちづくり・住まい方の工夫	広島県、尾道市、森林整備センター	森林整備、治山事業		
		福山市、尾道市	防災指針策定【福山市】	防災指針策定【尾道市】	立地適正化計画の改定・運用
		尾道市、福山市	立地適正化計画の策定・運用【尾道市】	開発許可の厳格化	浸水ハザードエリア等における開発許可の厳格化の運用
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	⑧ハザードマップの作成・周知	福山市	止水板の設置補助		
		尾道市、福山市、(広島県)	洪水ハザードマップ作成【福山市】	出前講座等にて周知	
	⑨高齢者等避難の実効性の確保	尾道市、福山市	洪水ハザードマップ作成済【尾道市】	内水ハザードマップ作成【福山市】	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び活用の促進
⑩防災体制の強化	広島県、尾道市、福山市	関係機関との各種連携			

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

プロジェクト進捗度の考え方

- PHASE1 流域の関係者が治水対策を進めている段階
- PHASE2 流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を進めている段階
- PHASE3 流域で流量を分担するなどし、流域のあらゆる関係者が様々な治水対策を計画的に進めている段階